

はじめての キノコ・コケ・テラリウム

キノコ・コケ・テラリウムの作り方

1. 道具を揃えよう

スタートキット以外に用意するもの



①容器

フタ付きの「クローズドタイプ」とフタのない「オープンタイプ」に分けられます。クローズドタイプは湿度が保たれるため、管理に手間がかかりません。初めての方には、「クローズドタイプ」がおすすめです。



②鉢受皿

用土を混ぜる際に使用します。

③ハサミ

苔を切り、形を整える際に使用します。

先端が細く、1本ずつ切れるものを選びます。

④ピンセット

苔を植える際に使用します。

2. 用土の調合



付属の用土を鹿沼土を除き、鉢受皿に全て入れ、よく混ぜ合わせる。

3. 容器の底に鹿沼土・調合土を入れ、石をレイアウト



容器に鉢底石代わりの鹿沼土を平らに敷き詰め、その上から2の調合土を入れ、石をレイアウトする。

4. キノコの菌床をセットする



キノコの菌床をアルミホイルを下にして、土に埋めます。菌床の白いひも状の物が、キノコに成長します。

5. 苔の下ごしらえ



苔に付いているゴミや余分な土を取り除く。

シッポゴケは、ハサミを使って苔の形・高さを整えます。

6. 苔を植える



シッポゴケは2、3本をピンセットでつまみ、用土に軽く押し込んで植えていく。ピンセットを抜く際に、割り箸等で苔を押えておくとうまく植えることができます。



ハイゴケは菌床の上にかぶせるように置きます。

これでひとまず完成です。後はコケが全体に濡れる程度に霧吹きで水を与え、蓋をして7～15度くらいの明るい場所に置いてください。蓋の無い容器の場合は、サランラップで蓋をします。

(エノキタケの発芽温度は7～15度くらいです)



苔が乾いてきたら、霧吹きで水を与えてください。

条件がよければ、4、5日でキノコが生えてきます。

キノコが枯れてしまいましたら、キノコを取り除き、コケリウムとしてお楽しみください。